

令和3年度 学校図書館基本計画

足立区立東綾瀬小学校 校長 木村 浩昌

1 学校教育目標

- ① 進んで学ぶ子
- ② 助け合う子
- ③ 体をきたえる子

【目指す児童像】

- 目標や課題をもち、意欲的(主体的に)取り組む子
- 集団生活のルールを守り、友達に優しく、思いやりのある関わりができる子
- 自分の言葉で気持ちや考えが表現できる子
- 基本的な生活習慣が身に付いている子

2 学校図書館の目標・ねらい ー身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度ー

- ① 児童の読書に対する意欲を高め、豊かな心情を育てる。
- ② 多様な資料から目的に応じた情報を選んで効果的に活用し、自ら考え正しく判断する主体的な学習態度を育てる。
- ③ 様々な取り組みを通して読書の楽しさや喜びを味わい、日常的に本に親しむ態度を養う。
- ④ 学校図書館及び校内の図書に関わる環境を整備し、学習情報センターとしての機能の充実を図る。

3 学校図書館の現状(昨年度末)

蔵書状況	① 蔵書数 11,385 冊 (蔵書基準冊数 9,560 冊) / 蔵書率 119%									
	② 新規購入図書 535 冊 / 廃棄図書 84 冊 / 増減冊数 451 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	1%	1%	7%	6%	11%	4%	3%	6%	4%	57%
*国基準	6%	2%	18%	9%	15%	6%	5%	9%	4%	26%
利活用の状況	① 開館時間:8時35分から15時25分									
	② 児童一人あたりの年間貸出冊数 28 冊(前々年度:18 冊)									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 59%									

4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	① 読みやすい読み物に興味を持ち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。 ② 学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用する態度を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
① 学校図書館を使う授業により、本を手にする機会が増える。 ② 学校図書館の本を利用し、読書をする経験を重ねる。 ③ 学校図書館の利用の仕方について知る。	① 各クラス月2回以上、読書等の授業を学校図書館で行う。 ② 読書旬間を利用して、年間一人あたり30冊以上の本を読む。 ③ 学校図書館オリエンテーションを実施した学級100%
第2学年	① いろいろな読み物に興味を持ち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。 ② 学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用しようとする態度を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
① 自分の興味のある本を探して、読書することができる。 ② 図鑑や科学的な読み物について読書し、知りたいことがらの中に見つけることができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書することができる。	① 各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 読書旬間を利用して、年間一人あたり40冊以上の本を読む。

第3学年	① いろいろな読み物に興味を持ち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、進んで学校図書館を利用する態度を養い、資料や情報を集めて活用できる力を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
① 交流などを通して様々な読み物に興味をもち、読書の幅を広げる。 ② 辞典や図鑑等から分かったことをまとめることができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書ができる。	① 各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 読書旬間を利用して、年間一人あたり20冊以上の本を読む。 ③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が50%以上

第4学年	① いろいろな読み物に興味を持ち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、多様な資料や情報を収集・活用することができるようにする。
今年度の成果目標	達成基準
① 自分の興味のある本だけでなく、今まで興味なかった本についても読書することができる。 ② 課題や知りたい事について調べる手順や方法が分かり、調べたことをまとめ、説明することができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書ができる。	① 各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 読書旬間を利用して、年間一人あたり20冊以上の本を読む。 ③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が60%以上

第5学年	① 適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。
今年度の成果目標	達成基準
① 興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。 ② 複数の本や新聞等から分かったことをまとめることができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考えることができる。	① 各クラス月1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 年間一人あたり15冊以上の本を読む。 ③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が65%以上

第6学年	① 適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする態度を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。
今年度の成果目標	達成基準
① 興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。 ② 複数の本や新聞等から分かったことをまとめ、自分なりの意見をもつことができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考え、友達に伝えることができる。	① 各クラス月1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 年間一人あたり15冊以上の本を読む。 ③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が70%以上

5 学校図書館環境整備に関する取り組み計画・方針

【蔵書・配架等に関すること】

- ① 既存の寄贈本や新規購入図書の受け入れ、登録作業を前期終了までに完了させる。
- ② 廃棄図書を早期に確定させ、蔵書構成を念頭においた新規図書購入計画を作成する。

【学校図書館支援員との連携・協働】

- ① 学校図書館オリエンテーションの実施やブックトーク等、支援員の積極的な連携・協働に取り組む。
- ② 調べ学習をはじめ、授業に必要な教材や資料についての学習支援について、支援員への相談や情報交換を行う。
- ③ 学校図書館支援員やボランティアとの連携を深め、親しみやすい学校図書館づくりを実践する。

【その他】① 貸し出し冊数は、1・2年生 2冊/1週間、3年生以上 3冊/1週間、夏季休業中は全学年5冊とする。